

令和 8 年度

枚方市施策評価報告書

(総合計画及び総合戦略の進捗管理)

令和 8 年 8 月

枚方市

目 次

1. 施策評価制度の概要	1
(1) 施策評価の目的.....	1
(2) 評価の流れ.....	1
(3) 評価手法.....	3
(4) 評価結果の活用.....	4
2. 令和8年度 施策評価	4
(1) 市民満足度の推移.....	4
(2) 内部評価と外部評価の概要.....	4
(3) 次年度に向けて.....	9
3. 総合戦略	10
(1) 総合戦略の概要.....	10
(2) 評価方法.....	10
(3) 評価結果.....	12
【参考】	
・ 令和8年度 枚方市施策評価員名簿	14
・ 総合戦略K P I（重要業績評価指標）一覧	15

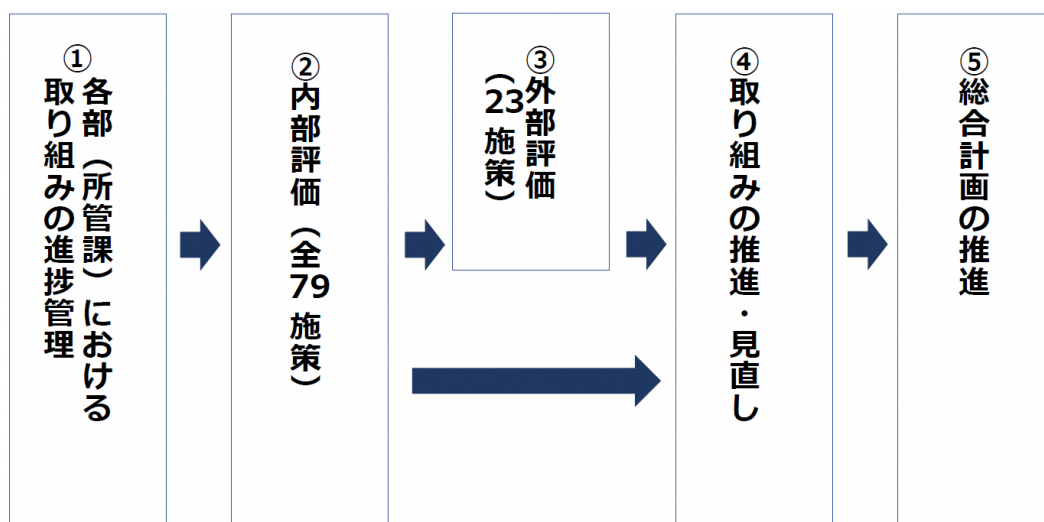
1. 施策評価制度の概要

(1) 施策評価の目的

本市では、第5次枚方市総合計画基本計画（以下、「基本計画」という。）を推進するため、基本計画に掲げる重点施策などを踏まえながら、4年間で実施していく具体的な実現計画として、実行計画を策定しています。令和6年度から令和9年度を計画期間とする第3期実行計画では、市民満足度を向上させ、第5次総合計画のめざすまちの姿を実現させるため、施策ごとにめざす姿を設定し、各施策に位置付ける取り組みを推進しています。

そうした中で、施策評価は、実行計画の進捗を把握・評価することにより、PDCAサイクルの一環であるCheckの役割を果たすことを目的として実施しています。施策評価の実施にあたっては、評価のプロセスを公表し、市民への説明責任を果たすとともに、市民と学識経験者からなる枚方市施策評価員（以下、「評価員」という。）による外部評価も取り入れることで、市政運営の透明性の確保と市政への市民の関心を高めることとあわせて、評価結果を次年度以降の施策等へ反映することにより、施策の最適化にもつなげていくことを目指します。

(2) 評価の流れ



第3期実行計画の施策評価は、市において実行計画等の取り組みの進捗管理を行う「内部評価」と、評価員による「外部評価」の両方により、毎年度評価を行います。

「内部評価」では、具体的な取り組みの年次進捗状況や取り組みに設定された成果指標の達成度合い、市民満足度で把握する主観的指標等を活用し、全79施策に対して検証・評価を行い、今後の方向性を作成します。

「外部評価」は、第3期実行計画のめざす市民満足度の向上の観点より、施策の市民満足度を測定する主観的指標の数値からさらなる取り組みの推進が必要と考えられる施策を基本に、評価員の意見も踏まえつつ評価対象となる施策を選定したうえで、評価員の持つ知見や市民感覚などに基づいた評価を行います。

【令和８年度外部評価対象施策（23 施策）】

施策シート番号	施策名称
01_01	防災体制の強化
05_01	公共交通機関の利用促進
05_02	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進
10_01	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実
10_02	障害への理解促進、地域との交流の場の提供
11_02	人権侵害への支援の充実
12_01	女性活躍の推進
15_01	子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくり
15_02	子育てに対する相談体制及び地域の子育て支援の充実
15_03	児童虐待等の発生予防、早期発見、早期対応
15_04	子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり
16_03	高い指導力と意欲を持つ教職員の育成
16_05	いじめの未然防止・早期発見
17_01	生涯学習の推進
17_02	図書館運営・機能の充実
19_02	観光施策の推進
20_01	雇用対策の充実
21_01	市内産業の活性化
21_02	創業（起業）できる環境づくりの充実
22_01	農業の担い手の育成、就農促進
27_01	ゼロカーボンシティの推進
29_02	D X の推進
31_01	行財政改革の推進

(3) 評価手法

第3期実行計画の具体的な取り組みに係る進捗状況と施策指標の達成度合いから評価を実施しています。(詳細は評価様式の「評価様式の見方」参照)

【具体的な取り組みの進捗状況】

第3期実行計画に位置付けたそれぞれの具体的な取り組みについて、年次的な取り組みの目標の達成度合いについて、◎、○、△、×の4段階で評価を行っています。

それぞれの達成状況は以下のとおりです。

◎：達成 ○：一部未達成、達成に向け進行中 △：課題や遅れあり ×：多くが未着手

【施策指標の達成度合い】

施策指標については、28の施策目標及び4つの計画推進ごとに、市民の評価により進捗を測る「主観的指標」と客観的な数値により進捗を測る「客観的指標」を設定し、達成度を測定しています。また、主観的指標については、「属性等による分析」と「マトリクス分析」により分析を行っています。

施策指標	主観的指標	●目標に向けた取り組みの成果を、市民がどのように感じているか把握する指標(各施策に対する「重要度」「満足度」を4年毎に実施する市民意識調査により把握する。ただし、「満足度」は毎年度調査する。)(結果については評価様式を参照。) ※指標例：「防災体制が整っていると感じている市民の割合」、「防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合」など (市民の割合とは、市民意識調査の6つの回答区分[感じている、やや感じている、どちらともいえない、あまり感じていない、感じていない、わからない]のうち、「感じている」、「やや感じている」の回答率)
	客観的指標	●目標に向けた取り組みの成果を、客観的な数値により定量的に把握する指標(毎年度、実績数値を把握する。)(結果については評価様式を参照。) ※指標例：「重要物資備蓄目標達成率」、「自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合」など

※施策指標については、社会状況の変化などを踏まえ、必要に応じてより適切な指標への改善を図ります。

①属性等による分析

市民意識調査の回答者の年齢、家族構成、生きがいの有無などと、それぞれの施策の満足度である主観的指標のクロス分析を実施しています。(分析結果の詳細については評価様式の見方を参照。)

②マトリクス分析

施策満足度に紐づくそれぞれの施策ごとの具体的な取り組みに対する、市民の取組満足度と関心・期待度・ニーズを視覚的に表しています。今後の施策の方向性の参考としています。(分析結果の詳細については評価様式の見方を参照。)

○取組満足度(横軸)：市の取り組みに関して満足していると回答した人に対する、選択の決め手となった取り組みとして選択された数により計算。

○関心・期待度・ニーズ(縦軸)：市の取り組みに関して不満があると回答した人に対する、市の取り組みとして足りていないものとして選択された数により計算。

【外部評価】

対象施策において、以下のポイント等を踏まえて評価員による評価を実施しています。

- ①取り組み内容が市民のニーズに合っているか
- ②取り組みの進捗から、一層の推進またはスケジュール及び内容の見直しが必要ではないか。
- ③指標（目標数値）設定の妥当性
- ④施策の今後の方向性の妥当性

（４）評価結果の活用

評価結果については、次年度以降の施策立案や取り組みの見直し等に活用します。この反映状況については毎年度確認の上、次年度の施策評価において総括を行うこととします。

こうしたPDCAサイクルの運用により、施策の最適化を図り、より効果的な第3期実行計画の取り組みにより市民満足度を向上させ、総合計画の推進につなげていきます。

2. 令和8年度 施策評価

（１）市民満足度の推移

令和8年度に実施した市民意識調査では、前年度よりも回答者数が前年度の1,121人から1,762人に約1.5倍増加しました。また、市民満足度については、各設問に対する「どちらともいえない」・「わからない」の割合が昨年度から増加する結果（8.9%）となっていることに伴い、令和7年度から全体的に満足度を押し下げる結果（▲10.2%）となりました。一方で、不満足割合は昨年度から微増（1.3%）に留まっている状況です。

こうしたことを踏まえ、今後一層の市民ニーズの把握に努めるとともに、「選択と集中」による施策全体の最適化を図ることなどにより、市民満足度の向上をめざしていきます。

（２）内部評価と外部評価の概要【詳細は、各施策の評価様式を参照】

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価（今後の方向性）	外部評価コメント要旨
防災体制が整っている 【施策シート：01_01, 01_02, 01_03, 01_04, 02_01】	29.2%	63.0%	50.0%	・災害時の避難体制整備や要配慮者支援の推進とさまざまな情報発信手段の活用、効率的な備蓄品管理および地域連携による地域防災力の強化 ・道路・橋梁・上下水道など都市基盤の計画的な維持管理の推進	・家具固定器具購入補助にとどまらない自助促進の方策や、インフラ整備、要配慮者支援対策など今後の課題への対応が必要ではないか。 ・多世代に向けた効果的な情報発信や、モデル防災地区の指定等を通じた地域への好事例の横展開が求められる。
防犯体制が整い、身近な安全が確保されている 【施策シート：03_01, 03_02】	26.6%	100%	40.0%	・警察や地域等との連携による安全・安心のさらなる推進 ・関係機関との連携による特殊詐欺や消費者被害の防止対策・啓発と、多様化する相談内容に対応した体制強化	

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
安全で快適な道路環境が整っている 【施策シート：04_01, 04_02, 04_03, 04_04, 04_05】	23.0%	57.9%	62.5%	・都市基盤整備の着実な推進と主要道路の効率的・効果的な維持管理 ・通行空間の整備や維持管理、並びに関係機関と連携した交通安全の啓発	
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実している 【施策シート：05_01, 05_02, 05_03】	39.5%	36.4%	33.3%	・移動しやすい社会生活の充実に向けた地域公共交通の維持 ・空き家等の適正管理の促進やマッチング、補助制度の積極的な周知による良好な居住環境の確保	・運転手不足などの課題を踏まえると、取り組みの内容を見直し、改善を検討する時期にきているのではないかと。 ・取り組みの周知を強化し、地域と不動産関連事業者との連携による空き家・空き地のマッチングの推進を要望する。
心身ともに健康に暮らせる環境が整っている 【施策シート：06_01, 06_02, 06_03, 07_01, 07_02】	44.9%	53.3%	40.7%	・健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進 ・感染症危機に機動的に対応できる保健所体制の構築と人材育成等の推進	
安心して適切な医療が受けられる環境が整っている 【施策シート：08_01】	48.4%	50.0%	20.0%	・誰もが安心して医療を受けられる地域医療の充実	
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている 【施策シート：09_01, 09_02, 09_03】	26.3%	33.3%	50.0%	・高齢者の外出機会の創出による健康増進 ・取り組みの周知強化による、効果的な介護予防の推進	
障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている 【施策シート：10_01, 10_02】	16.5%	30.0%	27.3%	・障害者への理解促進と交流の場の提供、制度周知	・市民理解や交流機会をいかに創出していくかさらなる検討が必要ではないかと。 ・健常者とともに楽しめるスポーツの普及支援などに取り組むとともに、積極的な情報発信が求められる。
一人ひとりが人権を尊重し合っている 【施策シート：11_01, 11_02, 11_03】	21.2%	77.8%	69.2%	・各主体への枚方市人権尊重のまちづくり条例の理念等の周知・啓発 ・DVや虐待など様々な人権侵害事案に対する支援の充実に向けた連携強化 ・多言語相談窓口の開設や適切な行政サービス提供による外国人市民との共生環境の構築	・地域ぐるみの多様な主体による見守り体制づくりが必要ではないかと。 ・相談窓口におけるスキル向上が求められるのではないかと。 ・虐待対応の実績は評価できるが、地域連携のベースとなる自治会などの体制の維持の取り組みも必要ではないかと。

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
男女共同参画社会が実現している 【施策シート：12_01】	17.7%	20.0%	50.0%	・女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進	・職員の育休取得による業務負担増を防ぐため、業務管理の徹底や職場環境の整備などが必要ではないか。 ・くるみん・えるぼし認定事業者の増加に向けた取り組みや、企業の採用活動にプラスとなる支援を期待する。
平和の大切さが継承されている 【施策シート：13_01】	40.3%	100.0%	50.0%	・恒久平和に向けた平和啓発事業の着実な推進	
安心して妊娠・出産できる環境が整っている 【施策シート：14_01】	29.4%	66.7%	28.6%	・市民ニーズの把握とそれに基づいた妊娠・出産・子育て支援体制の整備	
安心して子育てできる環境が整っている 【施策シート：15_01, 15_02, 15_03, 15_04】	32.5%	87.8%	47.4%	・保護者のさまざまなニーズに応じた子どもの教育・保育環境の整備 ・ソフト・ハード両面からの子育て世帯への支援	・保育士の処遇改善や働きがいのある職場環境整備へのさらなる支援が必要ではないか。 ・身近な地域での子育て支援に加え、他機関との連携をさらに深化させるべきではないか。
子どもたちへの教育環境が充実している 【施策シート：16_01, 16_02, 16_04】	26.3%	66.7%	65.0%	・小・中学校の連携強化による主体的な学習環境づくりと教員の授業スキル向上 ・就学前児童施設、学校、家庭、地域の連携による教育環境の充実に向けた取り組みの推進	
子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしている 【施策シート：16_03, 16_05, 16_06, 16_07, 16_08, 16_09】	30.3%	63.2%	45.0%	・高い指導力と意欲をもつ教職員の育成 ・児童生徒の自発的、主体的な成長に向けた支援 ・子どもたちが安全で快適に学習できる環境整備	・教員の主体性発揮が意欲向上の鍵であり、時間外勤務削減による環境改善と意欲低下の要因分析が必要ではないか。 ・学校における課外活動の安全管理について、保護者と学校が共に進める土壌づくりが重要ではないか。
生きがいを持って学び続けられる環境が整っている 【施策シート：17_01, 17_02】	20.7%	77.8%	33.3%	・生涯学習の機会提供等の継続的な取り組み ・図書館利用者のニーズを踏まえたサービスやコンテンツの充実と、効果的な情報発信の推進	・利用者のニーズ変化への対応、生涯学習機会の充実に加え、単なる情報発信ではなく、利用者との双方向のデジタル活用を考えるべきではないか。 ・電子図書館のアクセス性向上や利便性向上を求める。
文化芸術に親しめる環境が整っている 【施策シート：17_03】	48.1%	100.0%	42.9%	・市民参加型公演等による文化芸術の機会創出と賑わいづくり	

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っている 【施策シート：17_04】	30.3%	54.5%	54.5%	・誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の創出	
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である 【施策シート：18_01, 18_02】	44.4%	12.5%	50.0%	・枚方市駅南側の賑わい創出と防災機能の向上 ・みどりの大空間や都市機能等の検討によるにぎわいのあるまちの具体化	
市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている 【施策シート：19_01, 19_02, 19_03, 19_04】	19.1%	81.5%	50.0%	・市の歴史文化に関する情報発信強化と計画的・継続的な文化財の保存・活用に向けた取り組み ・観光資源の効果的な発信による市内外の交流機会の創出	・「選択と集中」により市民評価の高い観光資源への重点化を検討すべきではないか。 ・イベントのタイムリーな通知など、市民が関心を寄せる効果的な情報発信により地域経済の活性化に繋げてもらいたい。
市内での産業活動が活発に行われている 【施策シート：20_01, 21_01, 21_02】	15.8%	50.0%	60.0%	・当事者や事業者のニーズ把握と関係機関連携による効果的な支援の継続 ・関係機関との連携による切れ目のない創業、起業支援の推進	・就職氷河期世代の支援など、多様な主体と連携した対策を図る必要があるのではないか。 ・中小企業の人手不足解消に向け、地元人材の雇用促進や新たな雇用機会の創出を図る取り組みを継続してもらいたい。 ・創業前から事業拡大ステージまで切れ目のない支援が必要ではないか。
農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされている 【施策シート：22_01】	13.8%	0.0%	42.9%	・幅広い世代の農業への関心喚起と次世代を担う新規就農者等の育成、確保	・農業ふれあい体験協力農家の確保に向けた法人化促進等が必要ではないか。 ・住宅街に近い農園の整備など、市民の関心を集めやすい就農支援策の推進が有効ではないか。
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されている 【施策シート：23_01】	25.3%	0.0%	33.3%	・里山保全の担い手確保	
普段の生活の中でみどりとふれあえる 【施策シート：24_01, 24_02】	51.7%	0.0%	33.3%	・自然とふれあえる公園整備の推進 ・地域特性に応じたゾーニングによる効果的・効率的な緑化の推進	
ごみ減量や資源循環が進んでいる 【施策シート：25_01】	34.1%	75.0%	62.5%	・4Rの取り組み推進、ごみの発生抑制の意識醸成	

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
安全で良好な生活環境が確保されている 【施策シート：26_01, 26_02, 26_03, 26_04】	38.6%	50.0%	80.0%	・安全で良好な生活環境の確保に向けた産業廃棄物等の発生抑制や適正処理の推進 ・安全で良質な水の安定供給	
地球温暖化の取り組みが進んでいる 【施策シート：27_01】	11.9%	100.0%	33.3%	・ゼロカーボンシティ実現に向けた市民の意識醸成の推進、再生可能エネルギーの利用拡大、省エネルギーの推進	・地域資源を活かした体験型イベントの実施など、環境問題に対する市民の関心を「自分事」化させる工夫が必要ではないか。
まちの美化が進んでいる 【施策シート：28_01】	33.3%	25.0%	0.0%	・美化活動の機運醸成による美しいまち並みの形成	
行政からの情報発信が充実している 【施策シート：29_01】	40.4%	40.0%	66.7%	・SNSの活用やイベント等を通じた市内外への戦略的なシティプロモーションの推進	
行政に対し意見を言う場が確保されている 【施策シート：29_02】	15.6%	50.0%	63.6%	・デジタル技術の導入および活用促進によるスマート自治体の推進	・情報システム部門のデータガバナンス機能を強化すべきではないか。 ・生成AIの具体的な活用を産学連携で進めるとともに、窓口利便性向上を強力に推進することが必要ではないか。
市民によるまちづくり活動が活発である 【施策シート：30_01】	19.1%	75.0%	40.0%	・若者世代への働きかけと関係機関との連携による地域活動の担い手確保	
持続可能な行財政運営を進めます 【施策シート：31_01, 31_02, 31_03, 31_04, 31_05, 31_06】		45.0%	23.8%	・健全な財政運営を行うための行財政改革の徹底と、さらなる財源確保の推進	・行財政改革プランの進捗遅れの原因把握と対策を徹底すべきではないか。 ・公有地売却やネーミングライツ等について、民間が検討しやすい見せ方の工夫や積極的な情報発信に注力すべきではないか。
自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります 【施策シート：32_01】		100.0%	100.0%	・周辺自治体との連携による効率的、効果的な行政サービスの提供	
全体		59.6%	48.1%		

具体的な取り組みの達成：各施策シートに紐づく具体的な取り組みの中で令和7年度の実績が「◎」の取り組みの割合
 施策指標の達成：各施策シートに紐づく客観的指標の中で、令和7年度の実績が、目標値を上回った指標の割合

(3) 次年度に向けて

今回の市民意識調査では市民満足度の的確な把握をめざして「決め手となった取り組み」の項目を市民に分かりやすい表現に見直すなどの改善を図りました。しかしながら、「どちらともいえない」や「わからない」といった回答割合が前年度を上回る結果となりました。この要因については、回答者数の増加など様々な要素が複合的に影響していると考えられることから、引き続き要因分析を進め、より実態を反映できるよう、検討を進めていきます。

外部評価員からは、全体や特定の年代における満足度低下の要因をさらに分析し、満足度が低い事業の見直しや、高い施策への重点化を図ってはどうかといった意見がありました。

また、実施している施策が市民の実感につながっていないとして、戦略的な情報発信によって、満足度の向上が図れるのではないかと意見もありました。

客観的指標については、外部要因に左右されず事業の成果等が的確に測れる指標の設定に加え、年齢等の属性別分析に基づくきめ細やかな分析が求められています。

今後はこれらの意見を踏まえ、評価に基づく各取り組み内容の見直しとあわせて、より効果的な評価手法への更新について検討を進めていきます。

3. 総合戦略

(1) 総合戦略の概要

少子高齢化の進展への対応や、東京圏への人口集中の是正のため、国は、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）を制定し、平成 26 年 12 月 27 日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取り組みを進めました。令和元年 12 月 20 日には、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定しました。

まち・ひと・しごと創生法第 10 条では、市町村においても、国や都道府県の総合戦略を勘案し、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生の基本的な計画を定める努力義務が明記されています。

本市においては、人口減少への対応を図るため、本市の人口の現状や将来展望を示した「人口ビジョン」と、ビジョンで示す将来展望を踏まえ、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）までの 5 年間で集中的に行っていく施策をまとめた「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と令和 2 年度から令和 5 年度までの第 2 期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し推進をしてきました。

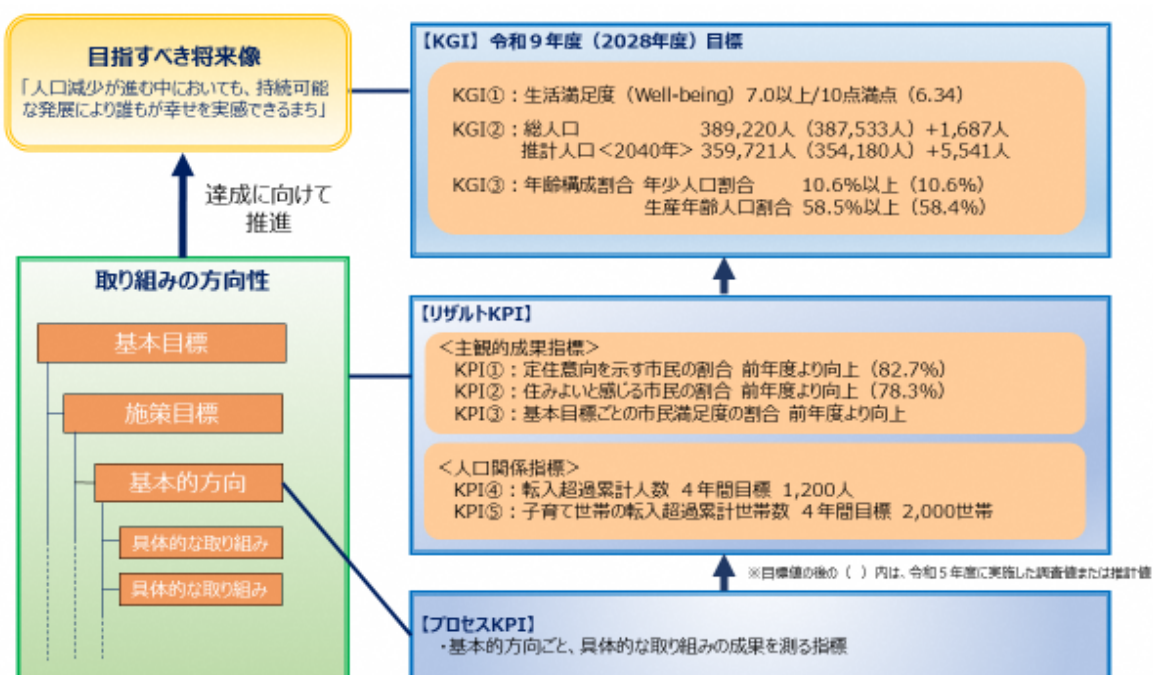
その後、令和 6 年 3 月に、令和 6 年度（2024 年度）を始期とする第 3 期の「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、引き続き取り組みを進めています。

総合戦略では、めざすべき将来像への進捗状況を測るため、3 つの重要目標達成指標（KGI）を設定するとともに、本市の実情に応じた 4 か年（令和 6 年度～令和 9 年度）の基本目標や施策の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標（KPI）を提示しています。

(2) 評価方法

総合戦略に掲げた施策を着実に実施し、基本目標を達成していくために、毎年度、重要目標達成指標（KGI）及び重要業績評価指標（KPI）の達成度等を検証しながら進捗管理を行います。進捗管理にあたっては、客観性を確保するために、評価員による意見を聞きながら評価を行います。

評価は、総合戦略が掲げるめざすべき将来像への進捗状況を測るため設定した 3 つの重要目標達成指標（KGI）と、2 種類の重要業績評価指標（具体的な取り組みによるアウトプットとしての成果であるプロセス KPI と具体的な取り組みの成果が将来像の達成につながるまでの中間的な KPI）の測定結果等により行います。



総合戦略の3つの基本目標

基本目標 1

安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

施策目標

1. 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち
2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

基本目標 2

市民の健康増進や地域医療の充実を図る

施策目標

1. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
2. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
3. 健康危機管理が充実したまち
4. 安心して適切な医療が受けられるまち

基本目標 3

産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

施策目標

1. 地域産業が活発に展開されるまち
2. いきいきと働くことのできるまち
3. 安全で快適な交通環境が整うまち
4. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち
5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
6. 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち

(3) 評価結果

①重要目標達成指標（K G I）について

目指すべき将来像への進捗状況を測るため、3つの重要目標達成指標（K G I）を設定しています。

●生活満足度（Well-being）＜市民意識調査により測定＞

策定時（R5 実績）	R7 目標値	R7 実績値	R9 目標値
6.34／10 点	6.67／10 点	7.01／10 点	7.0 以上／10 点

生活満足度については、策定時から増加し、目標値よりも 0.34 点高く、目標値を達成しています。

●総人口＜各年 5 月 1 日時点＞

策定時（R5 実績）	R7 目標値	R7 実績値	R9 目標値
395,460 人	392,340 人	392,048 人	389,220 人

総人口については、策定時から減少し、目標値よりも 292 人下回りました。

●年齢構成割合

	策定時 (R5 実績)	R7 目標値	R7 実績値	R9 目標値
年少人口割合	12.0%	11.3%	11.5%	10.6%以上
生産年齢人口割合	59.2%	58.9%	59.4%	58.5%以上

年齢構成割合について、年少人口割合は策定時から減少したものの目標値を上回りました。また、生産年齢人口割合については、策定時の値から増加し、目標値を達成しています。

②重要業績評価指標（K P I）について

■中間的なK P I 【リザルトK P I】

中間的なK P I はリザルトK P I とし、リザルトK P I は、基本目標に紐づく取り組みを総合的に推進することで、目標達成を目指します。

●主観的成果指標

	策定時 (R5 実績)	R7 目標値	R7 実績値	R9 目標値
定住意向を示す市民の割合	87.7%	前年度より向上 (87.8%以上)	90.7%	前年度より向上
住みよいと感じる市民の割合	78.3%	前年度より向上 (82.2%以上)	84.1%	前年度より向上
基本目標ごとの市民満足度の割合	P15 の総合戦略K P I （重要業績評価指標）一覧参照			

本市への定住意向や住みよさの向上を測るための政策指標については、策定時の値より上回り、目標値を達成しています。

●人口関係指標

	策定時 (R5 実績)	R7 目標値 (R6-7 の累計)	R7 実績値 (R6-7 の累計)	R9 目標値
転入超過累計人数	464 人 ※R2-R5 の累計	600 人	1,927 人	1,200 人
子育て世帯の転入超過累計数	1,277 世帯 ※R2-R5 の累計	1,000 世帯	731 世帯	2,000 世帯

転入超過累計人数は目標値を達成しましたが、子育て世帯の転入超過累計数は目標値を下回りました。

■具体的な取り組みの成果を測るK P I 【プロセスK P I】

施策目標に紐づく基本的方向ごとの具体的な取り組みの達成状況について、指標及び目標を設定しています。各指標における目標値及び実績については、P15 からの「総合戦略K P I（重要業績評価指標）一覧」を参照してください。

③評価のまとめ

リザルトK P Iのうち、主観的成果指標である「定住意向を示す市民の割合」と「住みよいと感じる市民の割合」及び主観的成果指標については、いずれも前年度数値を上回り、目標値を達成しています。一方で、人口関係指標のうち、「転入超過累計人数」は目標達成したものの、「子育て世帯の転入超過累計数」については、目標を下回る結果となりました。

K G Iについては、「生活満足度」と「年齢構成割合」は目標を上回りましたが、「総人口」は目標達成ができませんでした。

プロセスK P Iのうち、未達成の指標については、達成に向けて取り組みを進めることで、子育て世帯の転入超過につなげ、総人口の目標達成を目指します。

【参考】令和８年度 枚方市施策評価員名簿

- 【設置根拠】 枚方市施策評価員設置要綱
- 【担当事務】 施策評価を行うこと。
施策評価の手法に関する調査を行うこと。
- 【定数及び任期】 評価員の定数は、７人以内とする。
評価員の委嘱期間は、１年以内とする。ただし、再度の委嘱を妨げない。

氏 名	所 属	選出区分	専門分野
新川 達郎	同志社大学 名誉教授	学識経験者	行政・地方自治 公共政策
橋本 有理子	京都女子大学心理共生学部心理共生学科 教授	学識経験者	福祉
大町 聡英	北大阪商工会議所 総務企画部 部長	各種団体	商工業
松元 広樹	特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター 副理事長	各種団体	市民活動団体
松本 英史	枚方市コミュニティ連絡協議会 事務局長	各種団体	市民活動団体

【評価期間】 ７月３日（金）～７月３１日（金）

総合戦略 K P I（重要業績評価指標）一覧

基本目標 1 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

主観的成果指標

	策定時の値（R5）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	34.7%	39.8%	41.1%	29.4%	
安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	39.3%	45.8%	48.4%	32.5%	
子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	36.5%	39.9%	37.5%	26.3%	

策定時：郵送 無作為

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	（1）妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができるよう、母と子の心身の健康づくりを進めます。	妊娠11 週以下での妊娠の届出率	妊娠11 週以下での妊娠の届出数／全届出数	まるっとこどもセンター	目標値	96.5%	97.0%	97.0%	97.0%
					実績値	96.3%	97.4%		
		夫婦そろって早期に不妊検査を受けることにより、適切な医療に繋がった割合	検査後に不妊治療を開始した件数/助成件数	保健予防課	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
					実績値	80.0%	92.0%		
2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち	（1）子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合	乳幼児健康診査（4 か月児・1 歳6 か月児・3 歳6 か月児）受診時の保護者に実施するアンケートにおいて「今後も子育てをしたい」と回答した割合	まるっとこどもセンター	目標値	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%
					実績値	97.1%	97.1%		
	（2）保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	保育所等利用待機児童数	保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数	私立保育幼稚園課、保育幼稚園入園課	目標値	0人	0人	0人	0人
					実績値	0人	0人		
		在園児加点对象者の内定率	在園中の兄弟姉妹がいる保育所（園）を希望した場合の内定率（4月1 次選考）	保育幼稚園入園課	目標値	—	50.0%	50.0%	50.0%
					実績値	48.15%	27.03%		
		乳幼児健康診査の受診率	1 歳6 か月児健康診査受診児の人数／全 1 歳6 か月児の人数	まるっとこどもセンター	目標値	97.5%	98.0%	98.0%	98.0%
					実績値	94.3%	94.3%		
	（3）障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。	放課後等デイサービス利用者数	学校通学中の障害児を対象に放課後や長期休暇中に生活力向上の訓練を行う放課後等デイサービスの実利用者数（一月あたり）	障害支援課	目標値	1,290人	1,420人	1,562人	1,718人
					実績値	1,352人	1,463人		
		児童発達支援利用者数	就学前の障害児を対象に日常生活の基本的な動作や集団生活への適応の訓練を行う児童発達支援の実利用者数（一月あたり）	障害支援課	目標値	390人	468人	561人	673人
					実績値	494人	501人		
	（4）子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	地域子育て支援拠点事業利用者数	子育て世帯が交流できる場を確保する地域の子育て支援拠点事業の利用者数	私立保育幼稚園課	目標値	65,300人	66,300人	71,100人	68,900人
					実績値	63,140人	70,713人		
		リフレッシュ券利用件数	リフレッシュ券を活用した一時預かりの利用件数	私立保育幼稚園課	目標値	720件	800件	820件	840件
					実績値	784件	825件		
	（5）子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	児童虐待に関する相談件数	児童虐待に関する相談件数	まるっとこどもセンター	目標値	40,000件	50,000件	50,000件	50,000件
					実績値	47,843件	47,047件		
	（6）ひきこもりや若年無業者（ニート）の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	ひきこもり等に関する相談件数	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」におけるひきこもり・若年無業者（ニート）等に関する相談件数	まるっとこどもセンター	目標値	3,000件	3,880件	3,960件	4,040件
					実績値	3,800件	3,860件		
		SSWが関わることで事態が好転したとされる児童・生徒の数	SSWが関わることにより何らかの進展が得られたと推定される件数	まるっとこどもセンター	目標値	1,120人	1,200人	1,500人	1,500人
					実績値	—人	1,071人		
	（7）子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	ひとり親家庭の自立支援に関する給付金制度利用者数（累計）	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の利用者数（累計）	まるっとこどもセンター	目標値	130人	140人	150人	160人
					実績値	47人	76人		

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	(1) 義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	国語の平均正答率	学力調査（※）における市内全小中学校の平均正答率（国語）※学力調査＝全国学力・学習状況調査	教育指導課	目標値	全国平均以上 (小：67.7%) (中：58.1%)	全国平均以上 (小：66.8%) (中：54.3%)	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小：68% 中：59%	小：67% 中：55%		
		算数・数学の平均正答率	学力調査（※）における市内全小中学校の平均正答率（算数・数学）	教育指導課	目標値	全国平均 (小63.4%) (中52.5%) ×1.01以上	全国平均 (小：58.0%) (中：48.3%) ×1.01以上	全国平均×1.01 以上	全国平均×1.01 以上
					実績値	小：64% 中：53%	小：58% 中：49%		
		総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合	学力調査（※）における「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対して肯定的な回答をした割合	教育指導課	目標値	全国平均以上 (小81.3%) (中82.2%)	全国平均以上 (小82.3%) (中79.5%)	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小：81.2% 中：86.8%	小：83.4% 中：84.4%		
		1人1台端末活用率	①【個別最適な学び】学力調査（※）における「自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか」に対して肯定的な回答をした割合 ②【協働的な学び】学力調査（※）における「児童・生徒同士がやりとりする場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか」に対して肯定的な回答をした割合	教育研修課	目標値	全国平均以上 (①47.5%) (②43.1%)	①②全国平均以上 (①51.0%) (②46.3%)	①② 全国平均以上	①② 全国平均以上
					実績値	①72.4% ②76.6%	①70.5% ②72.8%		
		学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合	学校の授業時間以外に読書を「10分以上」と回答した児童・生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査より把握 ②市教委独自アンケートより把握 (小4～中3対象)	教育指導課	目標値	①全国平均以上 ②前年度末より向上 (小58.3%) (中53.5%)	①全国平均以上 (小53.2%) (中40.4%) ②前年度末より向上	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	①質問肢なし ②小56.6% 中46.1%	①小50.2% 中39.5% ②小52.5% 中45.8% (R7 2学期末)		
		体力・運動能力における全国平均を上回る種目数	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均を上回る種目数	教育指導課	目標値	小学校：男子2種目以上 女子2種目以上 中学校：男子1種目以上 女子1種目以上	前年度実績以上	前年度実績以上	前年度実績以上
					実績値	小学校：男子2種目 女子1種目 中学校：男子2種目 女子1種目	小学校：男子2種目 女子2種目 中学校：男子1種目 女子0種目		
	(2) 充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	「学校生活の中で、楽しさややりがいを感じるがある。」生徒の割合	学校教育自己診断における「学校生活の中で、楽しさややりがいを感じるがある。」と回答した生徒の割合	教職員課	目標値	90.0%	90%以上	90%以上	90%以上
					実績値	86.0%	89.0%		
		「意欲的に働き、自分の能力を高めることができた」（教職員）の割合	学校教育自己診断における「意欲的に働き、自分の能力を高めることができた」と回答した教職員の割合	教職員課	目標値	70%	72%	74%	76%
					実績値	71%	68%		
		1月あたりの時間外勤務時間が45時間以上の教職員の割合	1月あたりの時間外勤務時間が45時間以上の教職員の縮減割合【前年度比】	教職員課	目標値	24.0%	20.0%	18.0%	16.0%
					実績値	21.9%	18.8%		
		休日に教職員なしで成立している部活動及び地域クラブ活動の数	休日に教職員ではなく、地域人材が指導することによって成り立っている部活動及び地域クラブ活動の数	教育指導課	目標値	7クラブ	20クラブ	15クラブ	20クラブ
					実績値	8クラブ	12クラブ		

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	（３）学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合	全国学力学習状況調査における「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の割合	教育指導課	目標値	全国平均以上 小84.1% 中83.3%	全国平均以上 小86.9% 中86.2%	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小 83.1% 中 81.9%	小87.0% 中86.2%		
		職業講話等の登録事業者数（累計）	子どもたちへ職業講話・職業体験等を通して実社会の経験の機会を提供する市内企業数（累計）	商工振興課	目標値	5者	10者	25者	30者
					実績値	11者	21者		
	（４）学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	いじめの解消率	・いじめの解消率（※）（いじめの解消件数／認知件数＝％。夏年度の7月に集計） （※）① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間（少なくとも3ヶ月）継続していること。 ②被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。面談等により確認。	人権政策課	目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
					実績値	99%	99%		
		不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒の割合	不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒の割合	児童生徒課	目標値	小学校：51% 中学校：44%	小学校：22% 中学校：25%	小学校：0% 中学校：0%	小学校：0% 中学校：0%
					実績値	小学校：36.95% 中学校：37.63%	小学校：17.37% 中学校：25%		
	（５）子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	通学路における危険箇所の安全対策実施割合	学校から報告される通学路における危険箇所の安全対策の実施状況	新しい学校推進課	目標値	100%	100%	100%	100%
					実績値	100%	100%		
	（６）安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した学校施設の更新や改修、学校規模等の適正化を図るなど、教育環境の向上を図ります。	学校エレベーターの整備率	全学校のうちエレベーターが設置されている学校の割合	施設計画課 教育政策課	目標値	16%	21%	27%	35%
					実績値	16%	21%		
	（７）障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	小中学校における通級指導教室設置学校数	通級指導教室の設置学校数	支援教育課	目標値	41校	50校	63校	63校
					実績値	41校	50校		

基本目標 2 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

主観的成果指標

	策定時の値（R5）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	51.5%	56.7%	58.4%	44.9%	
安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	59.8%	62.8%	54.6%	48.4%	
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	34.2%	35.3%	38.8%	26.3%	

重要業績評価指標（K P I）

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	(1) 保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	健康づくり課 健康福祉政策課	目標値	14件	14件	14件	14件
					実績値	13件	15件		
		(2) 認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	健康福祉政策課	目標値	29,200人	30,400人	31,600人	32,800人
					実績値	30,039人	30,951人		
			「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	健康づくり課	目標値	100人	140人	140人	140人
					実績値	91人	121人		
			「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の利用件数	健康福祉政策課	目標値	1,500件	3,000件	4,500件	6,000件
					実績値	3,593件	4,046件		
	(3) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。	介護保険給付に占める在宅サービスの割合	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費	介護認定給付課	目標値	73.0%	73.5%	73.7%	73.7%
					実績値	71.9%	72.4%		
	(4) 介護が必要となったときに質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。	介護保険施設等の施設数	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の数	健康福祉政策課	目標値	102施設	105施設	108施設	108施設
					実績値	102施設	105施設		
	(5) 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。	高齢者居場所など集いの場の参加率	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション（街かどデイハウス事業）（仮）の延べ参加者数／高齢者人口	健康づくり課	目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
					実績値	6.79%	7.53%		
	(6) 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。	ひらかた生き生きマイレージ（介護予防ポイント事業）による活動件数	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数	健康づくり課	目標値	1,000件	1,500件	2,250件	3,375件
					実績値	1,296件	1,698件		
2. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。また、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	健康福祉政策課	目標値	12,000人	12,500人	12,500人	12,500人
		従業員の健康づくりに取り組む企業数（累計）	①企業への支援数 ②協会けんぽへの「健康宣言」を提出する市内企業数の増加（累計）	健康づくり課	目標値	①3,600回 ②165企業	①5,100回 ②195企業	①10,000回 ②225企業	①11,000回 ②255企業
					実績値	①4,993回 ②129企業	①9,872回 ②139企業		
		健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	健康づくり課	目標値	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人
					実績値	15,820人	16,599人		
		P H Rの活用についての認知度	アンケートを実施し、質問「P H Rの活用について知っている」と回答した人の割合	健康づくり課	目標値	5.0%	70.0%	75.0%	80.0%
					実績値	65.3%	59.9%		
	(2) あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。	健康スポーツイベント等の参加者数	補助事業で実施された各事業の参加者数	スポーツ振興課	目標値	9,200人	11,800人	11,900人	12,000人
					実績値	11,707人	10,128人		
	(3) 各種健（検）診の受診者を増やす取り組みなどを通じて、生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見を進めるとともに、食育や歯科口腔保健の推進を図ります。	特定健康診査受診率	関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者（国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者）	健康づくり課	目標値	35.0%	38.0%	41.0%	44.0%
					実績値	35.0%	35.9%		
		大腸がん検診受診率	市が実施する大腸がん検診の受診者／対象者（40歳以上70歳未満の者）	健康づくり課	目標値	7.7%	8.8%	9.9%	11.0%
					実績値	6.6%	6.3%		
		1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の割合	アンケートにおける「朝食、昼食、夕食ごとに主食、主菜、副菜がそろっているか」について回答を得、「1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている」と回答した人の割合	健康づくり課	目標値	58.7%	59.8%	60.8%	61.8%
					実績値	59.0%	56.6%		
	(4) こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進めます。	こころの健康相談の相談件数	うつ病などこころの病気について医療に係る相談を実施するこころの健康相談件数	保健医療課	目標値	5,000件	4,900件	4,800件	4,700件
					実績値	4,963件	3,784件		
	(5) 難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	「療養生活について相談できる人がいる・困っていない」と回答した人の割合	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる人がいる・困っていない」と回答した人の割合	保健予防課	目標値	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
					実績値	87.3%	88.8%		

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 健康危機管理が充実したまち	(1) 感染症の予防や拡大防止対策を強化するとともに、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を向上することなどにより、健康に関する危機管理体制の充実を図ります。	1歳までにＢＣＧ接種を終了している者の割合	結核を予防するＢＣＧワクチンを1歳までに接種した児の数／0歳の人口	保健予防課	目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
					実績値	96.9%	96.1%		
		収去検査における違反・不適件数	食品衛生及び生活衛生に関する立入・収去検査において違反・不適であった件数	保健衛生課	目標値	0件	0件	0件	0件
					実績値	2件	1件		
4. 安心して適切な医療が受けられるまち	(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。また、地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。	コンソーシアム連携事業への参加者数【再掲】	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	健康福祉政策課	目標値	12,000人	12,500人	12,500人	12,500人
					実績値	15,865人	13,415人		
	(2) 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送し入院に至った患者数／後送された患者	健康福祉政策課	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
					実績値	75.53%	57.92%		
	(3) 市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。	地域医療機関から市立病院への紹介件数	地域医療機関からの市立病院への患者の紹介件数	医事課	目標値	9,850件	9,900件	9,950件	10,000件
					実績値	9,688件	9,694件		
	(4) 外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。	医療通訳士の利用件数	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数	健康福祉政策課	目標値	500件	500件	令和7年度末で廃止	—
					実績値	388件	377件		
		医療機関への手話通訳者の派遣件数	聴覚に障害のある方が医療機関を利用する際の手話通訳者の派遣件数	障害企画課	目標値	1,317件	1,412件	1,507件	1,602件
					実績値	799件	816件		
	(5) 高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数【再掲】	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	健康づくり課 健康福祉政策課	目標値	14件	14件	14件	14件
					実績値	13件	15件		

基本目標 3 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

主観的成果指標

	策定時の値（R5）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	20.2%	20.5%	24.3%	15.8%	
安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	31.6%	33.5%	36.2%	23.0%	
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	52.1%	54.4%	48.9%	39.5%	
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	40.2%	39.9%	59.2%	44.4%	
市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	17.8%	19.0%	30.3%	19.1%	
生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5%	32.1%	35.7%	20.7%	
文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合	41.0%	54.3%	61.9%	48.1%	
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合	38.4%	43.7%	41.9%	30.3%	
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合	24.4%	32.4%	38.4%	25.3%	

重要業績評価指標（K P I）

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 地域産業が活発に展開されるまち	（１）企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります。	地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数（累計）	商工振興課	目標値	34 件	36 件	38 件	40 件
					実績値	34件	36件		
		住工共生環境対策支援事業補助金の交付件数	住工共生環境対策支援事業補助金の交付件数	商工振興課	目標値	1 件	1 件	1 件	1 件
					実績値	－	0 件		
	（２）中小企業の競争力強化のため、経営基盤の強化を図るとともに、産業技術や製品などを広く発信することで、市内産業の振興を図ります。	オープンファクトリーの参加事業者数（累計）	ものづくり企業の魅力を伝える機会をはじめ、まちの魅力発信や地域の活性化につながるオープンファクトリーに参加する事業者数（累計）	商工振興課	目標値	15 者	18 者	21 者	24 者
					実績値	17者	18者		
	（３）創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実を図ります。	地域活性化支援センターの創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターにおける創業支援を受けて実際に創業した件数	商工振興課	目標値	29 件	30 件	31 件	32 件
					実績値	38件	49件		
		地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	商工振興課	目標値	360 件	365 件	370 件	375 件
					実績値	446件	638件		
	（４）市内の企業や個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます。	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	商工振興課	目標値	－	－	3 件	3 件
					実績値	－	－		
2. いきいきと働くことのできるまち	（１）就職困難者に対する就労支援をはじめ、地域の実情に応じた新たな雇用機会の創出など、雇用対策の充実に取り組めます。	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	商工振興課	目標値	65 人	67 人	69 人	71 人
					実績値	58人	61人		
		就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数	健康福祉総合相談課、生活福祉課	目標値	190 人	200 人	210 人	220 人
					実績値	185人	112人		
		就労決定し定着支援を受けた者の内、就労定着３カ月以上した人数及び就労自立し保護廃止となった人数の合計を割った値（３カ月以上定着率）	就労決定し定着支援を受けた者の内、就労定着３カ月以上した人数及び就労自立し保護廃止となった人数の合計を割った値（３カ月以上定着率）	生活福祉課	目標値	53%	53%	53%	53%
					実績値	53%	58.8%		
3. 安全で快適な交通環境が整うまち	（１）交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。	国道１号における旅行速度	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	土木政策課	目標値	17. 7km/h以上	17. 7km/h以上	18.1km/h以上	18.1km/h以上
					実績値	17.6km/h	18.1km/h		
		連続立体交差事業用地取得率	連続立体交差事業に必要な事業用地の取得率（取得面積／総取得面積）	連続立体交差課	目標値	99%	100%	100%	－
					実績値	99%	99%		
	（２）交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。	国道１号における旅行速度【再掲】	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	土木政策課	目標値	17. 7km/h以上	17. 7km/h以上	18.1km/h以上	18.1km/h以上
					実績値	17.6km/h	18.1km/h		
	（３）日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。	交通事故件数（歩行者・自転車）	市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数	交通対策課	目標値	430 件	420 件	410 件	400 件
					実績値	409件	456件		
		交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	交通対策課	目標値	10,000 人	13,000 人	13,000 人	13,000 人
					実績値	13,175人	13,721人		

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
4. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	（１）市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。	公共交通利用促進啓発イベントの参加者数	鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数	交通対策課	目標値	6,500 人	7,000人	7,305人	7,615人
					実績値	6,932人	7,234人		
		地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムモデル事業の実施組織数または交通に関心を持った組織数	公共交通不便地域等において、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムモデル事業の支援を受けた組織数または、勉強会の開催など、関心をもった組織数	土木政策課	目標値	3団体	4団体	5団体	5団体
					実績値	4団体	5団体		
	（２）利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、計画的な都市づくりを進めます。	—	—	—	目標値	—	—	—	—
					実績値				
		（３）今後、増加することが見込まれる管理不良な空き家・空き地の発生抑制などを図るため、空き家・空き地の適正管理及び活用を促進します。	特定空き家等及び特定空き地等の改善率	周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空き家等」及び「特定空き地等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数／「特定空き家等」及び「特定空き地等」と認めた物件の数	住宅まちづくり課	目標値	100%	100%	100%
					実績値	0%	0%		
5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	（１）利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。	枚方市駅市民窓口センターにおける転入・転居（１件）に係るすべての手続きに要した時間	枚方市駅市民窓口センターにおける転入・転居（１件）に係るすべての手続きに要した時間	市民生活政策課	目標値	60 分	45分	45 分	45 分
					実績値	51分	50分		
		（２）枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、各種イベントの開催など賑わいづくりを創出します。	にぎわい空間創出事業来場者数	観光交流課	目標値	12,824 人	34,317人	34,317人	34,317人
					実績値	50,670人	41,252人		
	6. 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	（１）本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに、幅広い世代の人々にとっての憩いの場や学びの場を確保することで、人々の交流機会の創出を図ります。	新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6 年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	観光交流課	目標値	30,000 人	72,000 人	73,000 人
					実績値	67,267人	59,693人		
			観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均滞在者数	観光交流課	目標値	602,862千円	678,080千円	753,297千円
					実績値	533,784千円	642,145千円		
		民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷氷室・津田～美health プロジェクト」の実施数	農業振興課	目標値	5件	6件	7件	8件
					実績値	5件	7件		
		（２）学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。	市と大学との連携事業に参加した学生数	政策推進課	目標値	1,800 人	1,900 人	2,000 人	2,100 人
					実績値	1,493人	1,349人		
7. 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	（１）あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるWi-Fi 接続数デジタルサイネージ利用数	Wi-Fi 及びデジタルサイネージを設置した総合文化芸術センターや生涯学習市民センターにおけるWi-Fi 接続数デジタルサイネージを設置した施設におけるタッチ数	文化生涯学習課	目標値	14,000 回 28,000 回	140,000 回 130,000 回	150,000 回 135,000 回	155,000 回 140,000 回
					実績値	136,005 回 126,399 回	153,811回 79,058回		
	（２）市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。	図書館サービスに係る利用満足度	窓口アンケート調査による全館平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての７項目における「満足」「やや満足」の回答割合）	中央図書館	目標値	80%	83%	86%	89%
					実績値	79%	83%		
		図書館貸出冊数（個人・団体）	図書館全館の年間個人・団体貸出冊数	中央図書館	目標値	3,900,000冊	4,400,000冊	5,000,000冊	5,200,000冊
					実績値	4,168,650冊	4,481,969冊		
	（３）まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する総合文化芸術センターにおいて、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。	文化施設ホール利用者数	総合文化芸術センターの大ホール・小ホール・イベントホール・美術ギャラリーの年間利用者数	文化生涯学習課	目標値	331,000人	331,000人	331,000人	331,000人
					実績値	272,597人	260,280人		
	（４）まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	生涯学習市民センター利用件数	生涯学習市民センター（9 施設）の利用件数	文化生涯学習課	目標値	66,000 件	66,500 件	67,000 件	67,500 件
					実績値	65,509件	63,095件		
		（５）誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進めます。	トップスポーツチームとの連携事業の回数	スポーツ振興課	目標値	20 回	22 回	24 回	26 回
					実績値	21回	25回		
		e スポーツイベント参加者のうち満足した人の割合	e スポーツイベント参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	スポーツ振興課	目標値	85%	95%	95%	100%
					実績値	93.3%	100%		
8. 豊かな自然環境を大切にするまち	（１）里山などの豊かな自然空間を保全・継承していくため、自然と親しみ、自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティア育成などに取り組めます。	里山保全活動団体の活動日数（累計）	東部地域で活動する里山保全活動団体の年間活動日数（累計）	農業振興課	目標値	4,600 日	4,800 日	5,000 日	5,200 日
					実績値	4,736日	4,968日		
		森林ボランティア育成講座修了者数（累計）	森林ボランティア育成講座の受講者のうち規定の日数に出席し修了証を取得した人数（累計）	農業振興課	目標値	430 人	450 人	470 人	490 人
					実績値	416人	416人		